

プログラム

日時：平成11年12月11日（土）

場所：学士会館本館（神田錦町）

- 1：30 開会の辞、発足趣意説明：飯倉洋治（昭和大学医学部）
- 1：45 基調講演：子どもの心と体の危機について 根本 匠（前厚生政務次官）
座長：秋山洋（国立小児病院）
- 2：15 シンポジウムⅠ：医療が求める心理・社会的介入
座長：吾郷晋浩（国立精神神経センター）
浅井義弘（川村学園女子大学文学部）
英国の現状 津田彰（久留米大学文学部）
米国の現状 堤俊彦（三菱エンジニアリング）
医療現場が求める条件 長嶋正実（愛知県衛生部）
- 3：15 討論会 指定討論者：大矢幸弘（国立小児病院）
- 3：45 コーヒーブレイク
- 4：00 シンポジウムⅡ：医療と教育の現場に役立つ臨床研究とは
座長：添嶋裕嗣（鹿児島大学医学部） 赤坂晃（国立小児病院）
QOL assessment 武藤正樹（国立長野病院）
Decision Analysis 新保卓郎（京都大学医学部）
Evidence-Based Health Sciences 小林章雄（愛知医科大学）
- 5：15 閉会の辞と次年度へのメッセージ：赤坂晃（国立小児病院）
- 5：30 閉会
- 6：00 懇親会